

令和7年度

大分市民意識調査

概要版

企画部 企画課 行政改革推進室

令和8年3月

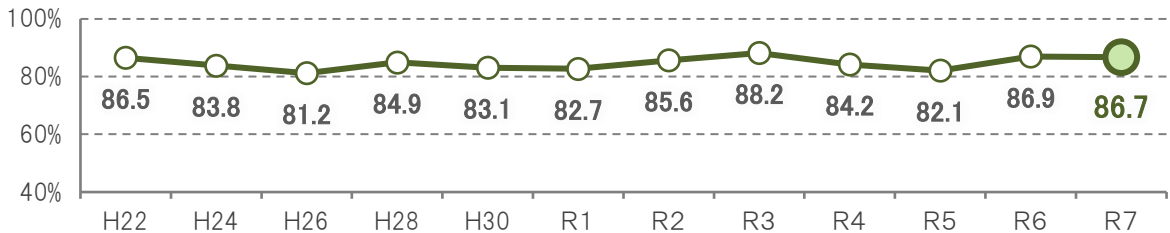
大分市への定住意向

住み続けたい

86.7%

「ずっと住み続けたい」(59.3%)と「できれば住み続けたい」(27.4%)を合わせた定住意向は86.7%となっています。同様の調査を開始した平成22年度以降、大分市への定住意向は常に80%を超えています。

《大分市への定住意向の推移》



『住み続けたい』と思う理由は？

- 1位 自分の家や土地が大分市にある (50.0%)
- 2位 住み慣れて愛着がある (32.2%)
- 3位 生まれ育ったところである (24.7%)
- 4位 仕事や学校の関係が大分市にある (18.9%)
- 5位 自然環境が良い (18.2%)

転出したい

3.5%

「できれば市外に転出したい」(3.1%)と、「すぐにも市外に転出したい」(0.4%)を合わせた転出意向は3.5%にとどまっています。

『転出したい』と思う理由は？

- 1位 交通の便が悪い (53.7%)
- 2位 買い物に不便である (19.4%)
- 3位 通勤・通学に不便である (11.9%)
- 4位 仕事や学校の関係が大分市にない (9.0%)
- 5位 自然環境が悪い/保健福祉が不十分である
/自分の家や土地が大分市にない/人間関係が悪い (各7.5%)

施策の取組の重要度と満足度

大分市では、新たな時代にふさわしい大分市を創造するためにまちづくりの指針として、

大分市総合計画

「未来へつなぐ おおいたビジョン 2034」を策定し、各施策に取り組んでいます。それぞれの取組について、どのくらい重要だと思うか、また、現在その取組に満足しているかを調査し、点数化を行いました。

(「重要」・「満足」に5点、「普通」に3点、「重要でない」・「不満」に0点を当てはめ、平均スコアを算出)

施策の取組の
重要度と満足度

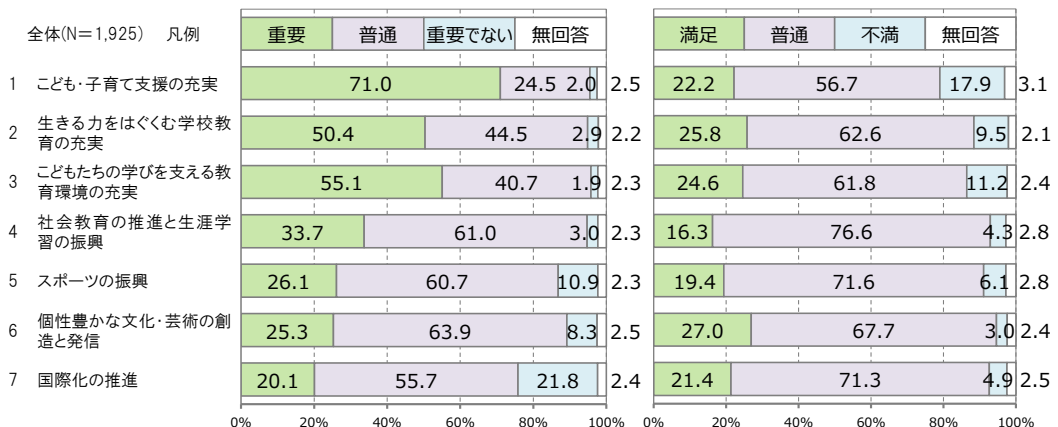
1 個性・成長 (豊かな個性をはぐくみ、ともに成長できるまち)

重要度では「こども・子育て支援の充実」、満足度では「個性豊かな文化・芸術の創造と発信」の平均スコアが最も高くなっています。

施策番号	施策	重要度 平均スコア	満足度 平均スコア
1	こども・子育て支援の充実	4.40	2.90
2	生きる力をはぐくむ学校教育の充実	3.94	3.24
3	こどもたちの学びを支える教育環境の充実	4.07	3.16
4	社会教育の推進と生涯学習の振興	3.60	3.20
5	スポーツの振興	3.20	3.21
6	個性豊かな文化・芸術の創造と発信	3.26	3.46
7	国際化の推進	2.74	3.29

※ 色：施策ごとの一番高い重要度スコアと満足度スコア

色：施策ごとの一番低い重要度スコアと満足度スコア



2 共生・安心 (共生する社会を実現し、安心して暮らせるまち)

重要度では「社会保障制度の充実」、満足度では「男女共同参画社会の実現」の平均スコアが最も高くなっています。

施策番号	施策	重要度 平均スコア	満足度 平均スコア
8	地域コミュニティの活性化	3.59	3.30
9	人権教育・啓発の推進	3.30	3.25
10	男女共同参画社会の実現	3.23	3.45
11	地域福祉の推進	3.87	3.18
12	高齢者福祉の充実	3.92	3.30
13	障がい者(児)福祉の充実	3.81	3.35
14	社会保障制度の充実	4.23	3.17
15	健康づくりの推進	3.72	3.36
16	地域医療体制の充実	4.21	3.13
17	清潔で安全な生活環境の確立	3.52	3.04
18	防災・減災・危機管理体制の確立	3.73	2.78
19	流域全体の関係者で行う災害対策等の推進	3.18	2.85
20	消防・救急体制の充実	3.40	3.06
21	交通安全対策の推進	3.45	2.80
22	犯罪のないまちづくりの推進	3.71	2.87
23	健全な消費生活の実現	3.24	2.78

※ 色：施策ごとの一番高い重要度スコアと満足度スコア

色：施策ごとの一番低い重要度スコアと満足度スコア



3 創造・挑戦 (新たな価値を創造し、未来に挑戦できるまち)

重要度では「安定した雇用の確保と勤労者福祉の充実」、満足度では「水道の整備」の平均スコアが最も高くなっています。

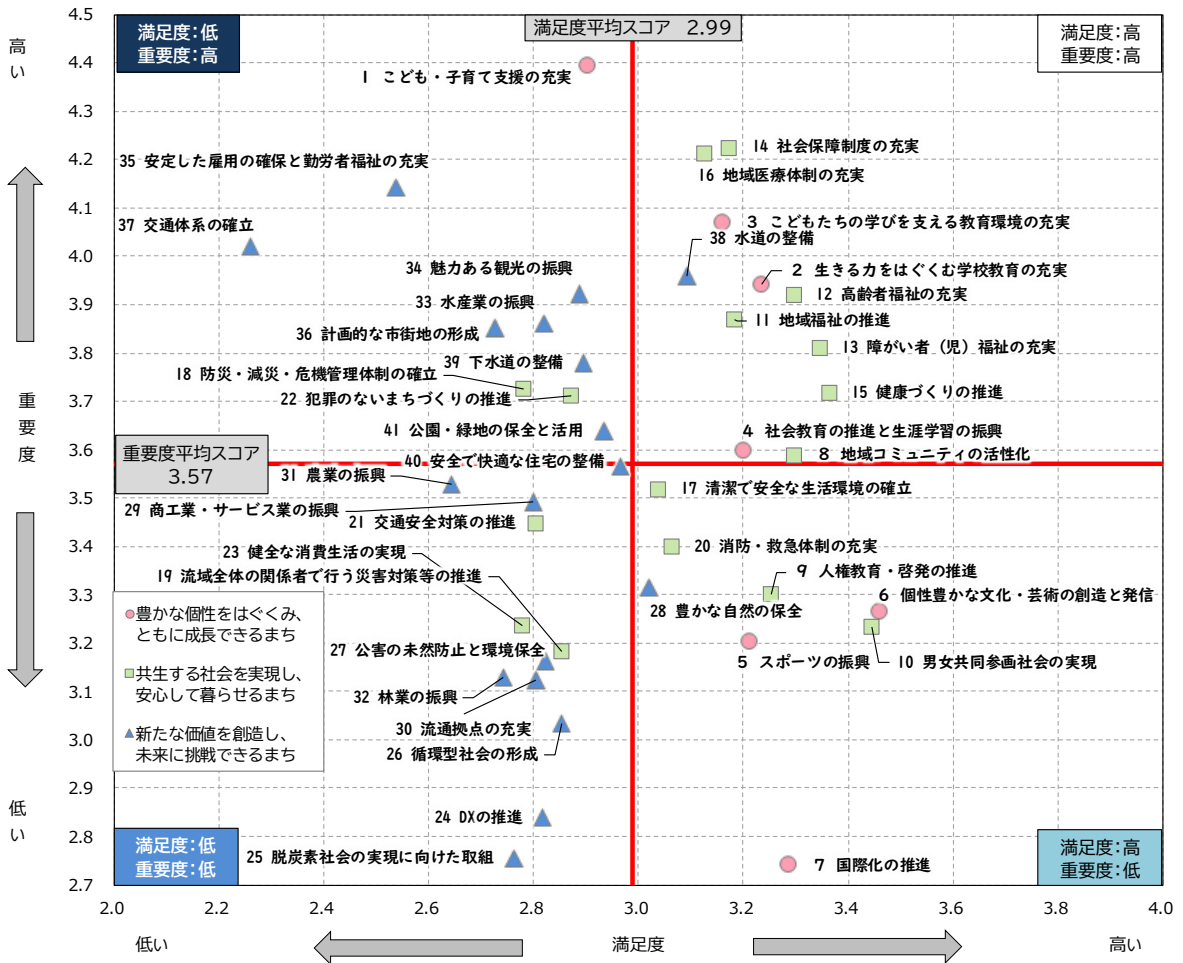
施策番号	施策	重要度 平均スコア	満足度 平均スコア
24	DXの推進	2.84	2.82
25	脱炭素社会の実現に向けた取組	2.76	2.76
26	循環型社会の形成	3.03	2.85
27	公害の未然防止と環境保全	3.16	2.82
28	豊かな自然の保全	3.32	3.02
29	商工業・サービス業の振興	3.49	2.80
30	流通拠点の充実	3.12	2.81
31	農業の振興	3.53	2.64
32	林業の振興	3.13	2.74
33	水産業の振興	3.86	2.82
34	魅力ある観光の振興	3.92	2.89
35	安定した雇用の確保と勤労者福祉の充実	4.14	2.54
36	計画的な市街地の形成	3.85	2.73
37	交通体系の確立	4.02	2.26
38	水道の整備	3.96	3.09
39	下水道の整備	3.78	2.90
40	安全で快適な住宅の整備	3.56	2.96
41	公園・緑地の保全と活用	3.64	2.93

※ 色：施策ごとの一番高い重要度スコアと満足度スコア

 色：施策ごとの一番低い重要度スコアと満足度スコア



《 重要度と満足度の平均スコアによる相関図 》

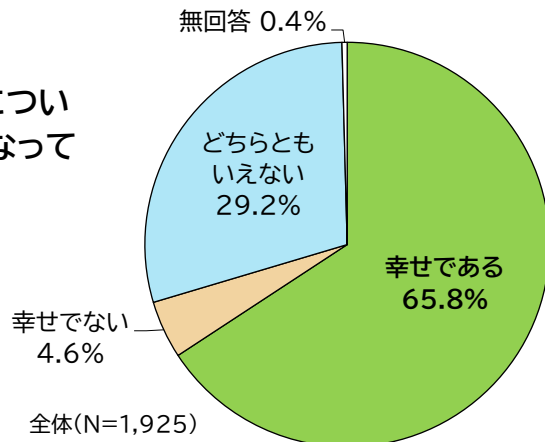


大分市総合計画に関する質問について

1 目指すまちの姿(都市像:誰もが“幸せ”を実感できるまちOITA)について

問:現在、あなたは“幸せ”ですか。

現在、“幸せ”だと感じているかについて、「幸せである」は65.8%となっています。

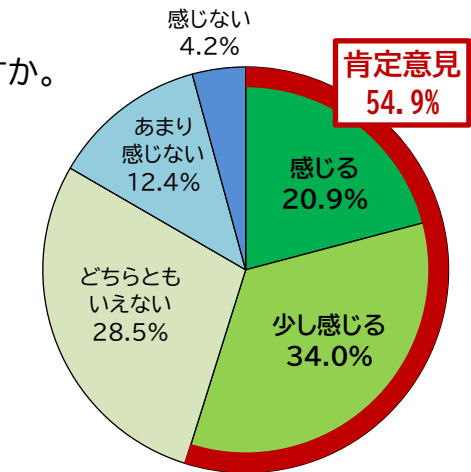


大分市総合計画に関する質問について

2 こども・子育て支援について

問:安心して子育てができていると感じますか。

安心して子育てできているかについて、「感じる」(20.9%)と、「少し感じる」(34.0%)を合わせた肯定意見は54.9%となっています。



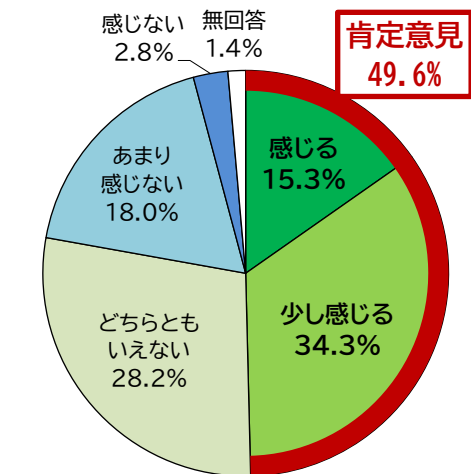
全体(n=589)

3 社会教育と生涯学習 について

問:社会教育施設において、学びの機会が提供されていると感じますか。

社会教育施設において、学びの機会が提供されているかについて、「感じる」(15.3%)と、「少し感じる」(34.3%)を合わせた肯定意見は49.6%となっています。

※市所有の主な社会教育施設:地区公民館、図書館、美術館、のつはる少年自然の家、JX金属 関崎みらい海星館



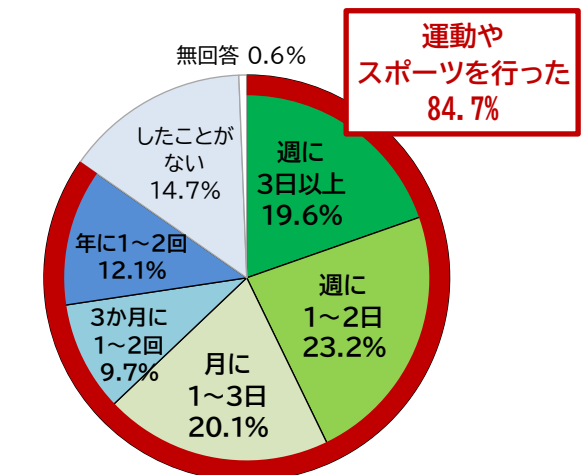
全体(N=1,925)

4 スポーツについて

問:運動やスポーツを、この1年間にどれくらいのペースで行いましたか。

この1年間でどれくらいのペースで運動やスポーツを行ったかについて、『運動やスポーツを行った』が84.7%、そのうち、週に1日以上(定期的)に運動をしている人の割合は、42.8%となっています。

※ここでいう「運動やスポーツ」とは、1日30分以上の軽く汗をかくもので、ウォーキング・散歩やレクリエーションスポーツなども含まれます。



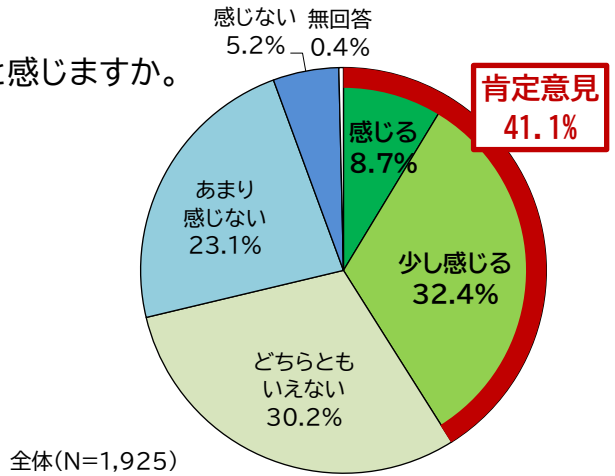
全体(N=1,925)

大分市総合計画に関する質問について

5 文化・芸術について

問:文化・芸術が盛んなまちであると感じますか。

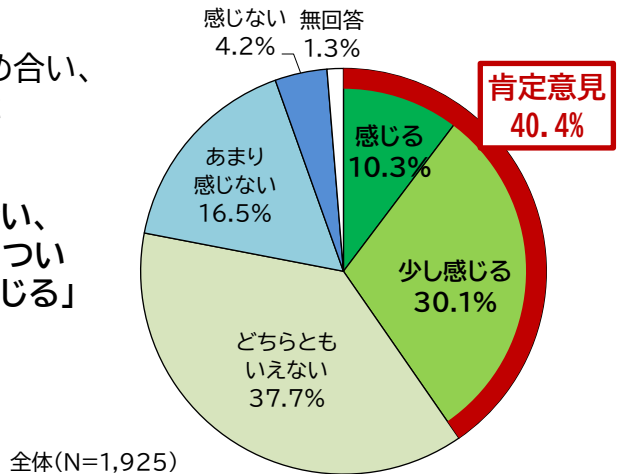
文化・芸術が盛んなまちであるかについて、「感じる」(8.7%)と、「少し感じる」(32.4%)を合わせた肯定意見は41.1%となっています。



6 国際化について

問:国籍や民族、文化等の違いを認め合い、誰もが暮らしやすいまちであると感じますか。

国籍や民族、文化等の違いを認め合い、誰もが暮らしやすいまちであるかについて、「感じる」(10.3%)と、「少し感じる」(30.1%)を合わせた肯定意見は40.4%となっています。

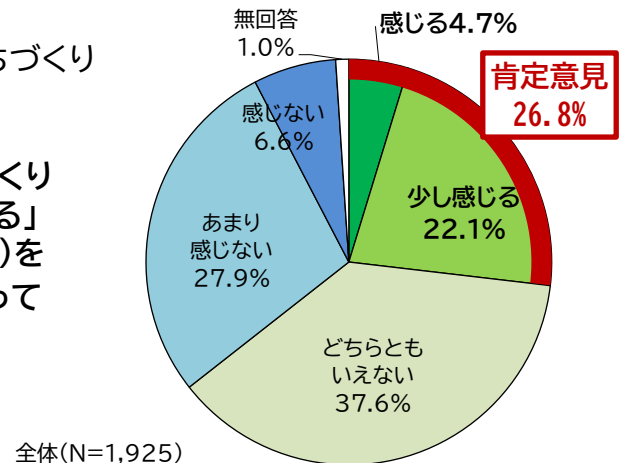


7 地域コミュニティについて

問:大分市では、市民主体によるまちづくりが行われていると感じますか。

大分市では、市民主体によるまちづくりが行われているかについて、「感じる」(4.7%)と、「少し感じる」(22.1%)を合わせた肯定意見は26.8%となっています。

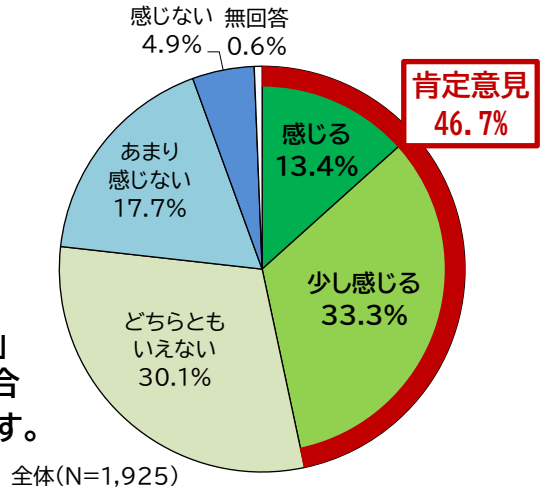
※ ここでいう「市民主体によるまちづくり」とは、市民がそれぞれの立場でまちづくりに参画し、主体的な役割を果たすことで発展していくまちづくりであり、ひいては住民自治の確立へと繋がっていくものを指します。



8 高齢者福祉・介護保険について

問:あなた自身もしくはあなたの身近な高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるために、必要な医療・介護・介護予防などのサービスが提供されていると感じますか。

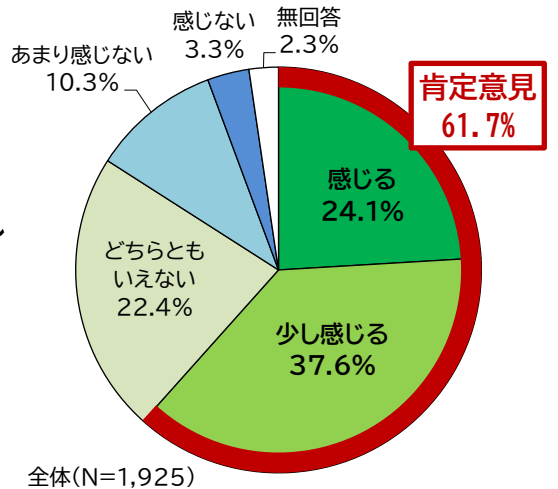
必要な医療・介護・介護予防などのサービスが提供されているかについて、「感じる」(13.4%)と、「少し感じる」(33.3%)を合わせた肯定意見は46.7%となっています。



9 地域医療体制について

問:あなたは、大分市で安心して必要な医療が受けられると感じますか。

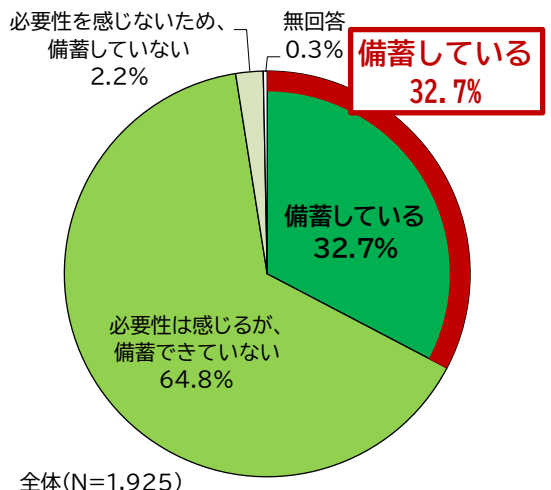
大分市で安心して必要な医療が受けられるかについて、「感じる」(24.1%)と、「少し感じる」(37.6%)を合わせた肯定意見は61.7%となっています。



10 防災・減災・危機管理体制について

問:災害に備えて3日分以上の家庭内備蓄をしていますか。

災害に備えて3日分以上の家庭内備蓄をしているかについて、「備蓄している」は32.7%となっています。

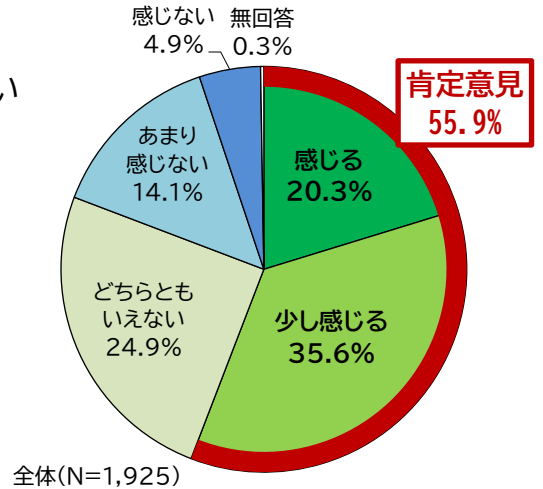


※家庭内備蓄とは、災害発生直後から救援物資が届くまでの期間、停電や断水が発生した状況の中で避難生活を送るため、食料品や飲料水、生活必需品を備蓄しておくことをいいます。

11 行政窓口・行政手続について

問:各種行政窓口・行政手続を利用しやすいと感じますか。

各種行政窓口・行政手続を利用しやすいかについて、「感じる」(20.3%)と、「少し感じる」(35.6%)を合わせた肯定意見は55.9%となっています。

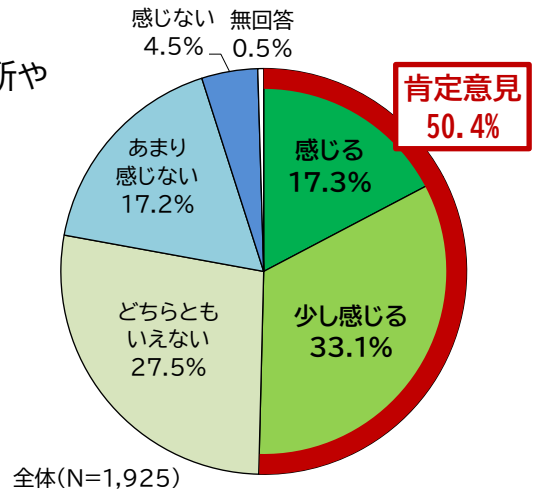


12 豊かな自然について

問:身近なところに、自然に触れあえる場所や環境教育に触れる機会があると感じますか。

身近なところに、自然に触れあえる場所や環境教育に触れる機会があるかについて、「感じる」(17.3%)と、「少し感じる」(33.1%)を合わせた肯定意見は50.4%となっています。

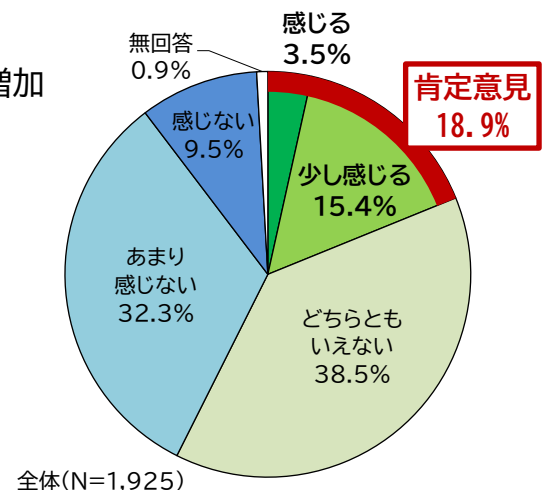
※環境教育とは、学校や職場、地域等で環境の保全についての理解を深めるために行われる教育及び学習のことをいいます。



13 商工業・サービス業について

問:地域経済の活性化や雇用創出の場が増加したと感じますか。

地域経済の活性化や雇用創出の場が増加したかについて、「感じる」(3.5%)と、「少し感じる」(15.4%)を合わせた肯定意見は18.9%となっています。

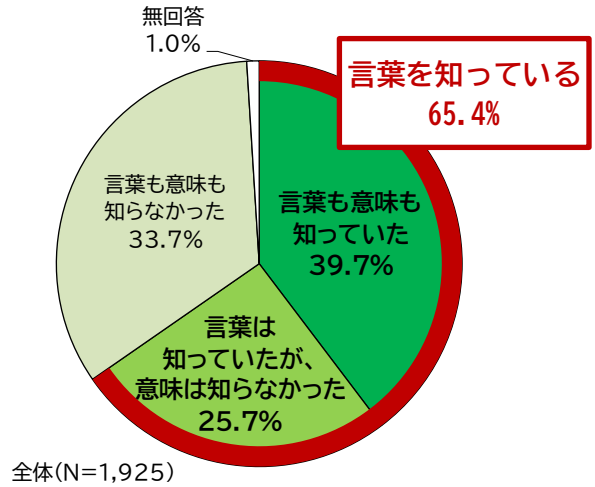


14 計画的な市街地の形成について

問:「心のバリアフリー」という言葉の認知度についてお答えください。

「心のバリアフリー」という言葉の認知度について、「言葉も意味も知っていた」(39.7%)と、「言葉は知っていたが、意味は知らなかった」(25.7%)を合わせた言葉を知っている割合は**65.4%**となっています。

※「心のバリアフリー」とは、様々な心身の特性や考え方を持つすべての人々が、相互に理解を深めようとコミュニケーションをとり、支え合うことをいいます。



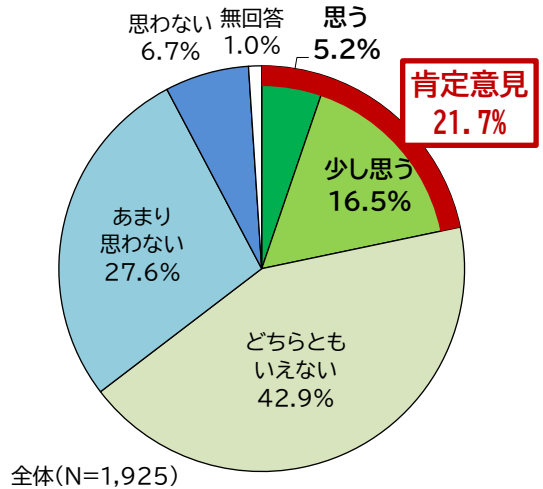
大分市が行っている取組や個別の事業について

1 若者が活躍しやすいまちについて

問:大分市は若者が活躍しやすいまちだと思いますか。

大分市は若者が活躍しやすいまちについて、「思う」(5.2%)と、「少し思う」(16.5%)を合わせた肯定意見は**21.7%**となっています。

※ここでいう「若者」とは、おおむね16歳から29歳までの方をいいます。



2 消防団について

問:消防団のことをどの程度知っていますか。

消防団のことを知っているかについて、「消防団の活動をよく知っている」(9.1%)と、「消防団の活動のある程度知っている」(30.5%)を合わせた知っている割合は**39.6%**となっています。

